### 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年		校長名			所在地						
河原デザイン・アー	·卜専門学	平成13年4月		白石 隆保	〒 (住所)	790-0002 愛媛県松山市二番町	T一丁目12-2						
校 設置者名		設立認可年		代表者名		089-931-9111	所在地						
						790-0001							
学校法人河原	• -	昭和60年10月		河原 成紀	(電話)	愛媛県松山市一番町 089-943-5333							
分野		忍定課程名		学科名		引士認定年度	高度専門士認定	年度	年度 職業実践専門課程認定 平成26(2014)年度				
工業	上未	関係専門課程	クラフィッ	クデザイン科	平及	23(2011)年度			平成20	(2014)年度			
学科の目的	デザインの	理論と技術を基盤に	、企画力と提案力	を備えた即戦力	のグラフィックテ	ザイナーを育成する。							
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	[在学の状	作権検定 Basic Pho 況]			(を含む) 令和7	年3月31日時点におい	て、在学者66名(令和79	年3月31日2	卒業者を含む	)			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要		1十4公	溝義	演習	実習	実駅		実技			
2	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入	単位時	寺間 -	単位時間	単位時間	単位時間		単位時間	単位時間			
生徒総定員	生徒爭		109 単位 数(生徒実員の内数)	(B) 留学生	27 単位 割合(B/A)	82 <sup>単位</sup> 中退率	0 単位	0 1	単位	0 単位			
60 人	66		0 人		0 %	7 %							
00 X	■卒業者			34	<b>人</b>	7 %							
	■就職希	望者数(D) :		34	À								
	■就職者 ■地元就	致 (E) : 職者数 (F)		34 24	<del></del>								
	■就職率			100	%								
		に占める地元就職者の		70	%								
	■卒業者(	こ占める就職者の割合		100	%								
就職等の状況	■進学者	数		0	Ž								
130436 47 02 0430	■その他												
		the other to Michael			the search								
	(令和		fに関する令和 <b>7</b> 年	- 5月1日時点の	育報)								
	● 土 ひ 税 ( 令和6年度	職先、業界等											
	(で作の十次		ギイン制作プロダ	<sup>*</sup> クションにデサ	イナーとして草	# IBB							
	印刷、出版	反、広告代理店、デ+											
	■民間の	評価機関等から第3	· 全者評価:		17 200%	<b>#</b>							
第三者による	■民間の		· 全者評価:		17 20 0 %	無							
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第3	· 全者評価:	受審年		<b>無</b>	価結果を掲載した ームページURL						
	■民間の ※有の場合	評価機関等から第3、例えば以下について任	· 全者評価:			<b>無</b>	価結果を掲載した ームページURL						
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第3、例えば以下について任	E者評価: E意記載	受審年」		<b>無</b>	価結果を掲載した ームページURL						
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第3、例えば以下についても 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/a	E者評価: E意記載	受審年」		<b>無</b>	価結果を掲載した ームページURL						
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三 、例えば以下について在 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ar は時間による算定)	E者評価: E意記載	受審年」		<b>無</b>	価結果を掲載した ームページURL		M (4-0+88				
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三 、例えば以下について在 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ad 時間による算定) 総授業時数	E者評価: 意記載 cademics/graphi	受審年/	J :	<b>無</b>	価結果を掲載した ームページURL		単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三 、例えば以下について在 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ad 時間による算定) 総授業時数 うち企業等	E者評価: 意記載 cademics/graphi	受審年) cs/ ・実習・実技の	J :	<b>無</b>	価結果を掲載した ームページURL	į	単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三 、例えば以下について在 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習	受審年) cs/ ・実習・実技の	J :	<b>無</b>	価結果を掲載した 一ムページURL	1	単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三 、例えば以下について在 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ad 時間による算定) 総授業時数 うち企業等	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受業時数	受審年) cs/ ・実習・実技の の授業時数	J:	無	価結果を掲載した	1	単位時間単位時間単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三 、例えば以下について在 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受業時数	受審年) cs/ ・実習・実技の の授業時数 携した必修の実	〕: 受業時数 余・実習・実技	無	価結果を掲載した 一ムページURL		単位時間単位時間単位時間単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修料	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受楽時数 うち企業等と連 うち企業等と連	受審年) cs/ ・実習・実技の の授業時数 携した必修の実 携した必修の演	受業時数 ・実習・実技 質の授業時数	無	価結果を掲載した	1 1 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修料	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受業時数	受審年) cs/ ・実習・実技の の授業時数 携した必修の実 携した必修の演	受業時数 ・実習・実技 質の授業時数	無	価結果を掲載した	1 1 1	単位時間単位時間単位時間単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企業	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受楽時数 うち企業等と連 うち企業等と連	受審年) cs/ ・実習・実技の の授業時数 携した必修の実 携した必修の演	受業時数 ・実習・実技 質の授業時数	無	価結果を掲載した	1 1 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携したた実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企ま	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受楽時数 うち企業等と連 うち企業等と連	受審年) cs/ ・実習・実技の の授業時数 携した必修の実 携した必修の演	受業時数 ・実習・実技 質の授業時数	無	価結果を掲載した 一ムページURL	1 1 1 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携はした況への表でである。	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について在 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企業 数による算定)	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受楽時数 うち企業等と連 うち企業等と連 業等と連携したイ	受審年) ・実習・実技の の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ンターンシップ	受業時数 ・実習・実技 愛の授業時数 の授業時数)	無	価結果を掲載した 一ムページURL	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携はした況への表でである。	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企業 数による算定) 総単位数 うち企業	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受業時数 うち企業等と連 すち企業等と連 業等と連携したイ	受審年) ・実習・実技の の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の	受業時数 ・実習・実技 愛の授業時数 の授業時数)	無	価結果を掲載した	109 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企業 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受業時数 うち企業等と連 すち企業等と連 実等と連携したイ	受審年) ・実習・実技の の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の	受業時数 ・実習・実技 愛の授業時数 の授業時数)	無	価結果を掲載した	109 4	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企業 数による算定) 総単位数 うち企業	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受業時数 うち企業等と連 すち企業等と連 実等と連携したイ	受審年) ・実習・実技のの授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数	受業時数 ・実習・実技 響の授業時数 の授業時数)	無解が	価結果を掲載した	109 4	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企業 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受業等と連 うち企業等と連 実等と連携したイ を連携した実験 をと連携した演習 を連携した演習 を連携した演習 を連携した演習 を連携した演習 を連携した演習 を連携した演習	受寄年) ・実習・実技のの授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数	受業時数 ・実習・実技 響の授業時数 の授業時数) 単位数 ・実習・実技	無解が	価結果を掲載した一ムページURL	109 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等とと連携にした況へんのです。	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企業 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 要業時数 うち企業等と連 素等と連携したイ を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を変響と連携した変習 を変響と連携した変習	受審年) ・実習・実技のの授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数	受業時数 ・実習・実技 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の受業時数	無解が	価結果を掲載した一ムページURL	109 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL  企業等とと連携にした況へんのです。	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企業 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受業等と連 うち企業等と連 実等と連携したイ を連携した実験 をと連携した演習 を連携した演習 を連携した演習 を連携した演習 を連携した演習 を連携した演習 を連携した演習	受審年) ・実習・実技のの授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数	受業時数 ・実習・実技 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の受業時数	無解が	価結果を掲載した一ムページURL	109 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等とと連携にした況へんのです。	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企業 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 要業時数 うち企業等と連 素等と連携したイ を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を連携した変習 を変響と連携した変習 を変響と連携した変習	受審年) ・実習・実技のの授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数	受業時数 ・実習・実技 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の受業時数	無解が	価結果を掲載した一ムページURL	109 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	E者評価: 意記載 cademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受業時数 うち企業等と連 変を達携したイ を連携した実験 をと連携したス 変を連携した演習 単位数 うち企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連	受審年) ・実習・実技の の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数 携した必修の実 携した必修の実	受業時数 ・実習・実技 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数	無解が	価結果を掲載した一ムページURL	109 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携はした況への表でである。	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下についても 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業・ うち必修i (うち企ま ・ うち企業・ うち企業・ うち必修i (うち企ま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	E者評価: 意記載 pademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受業時数 うち企業等と連 其した実験 をと連携した大演習 を連携した実験 をと連携した大演習 がなる企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 をである企業等と連 をである企業等と連 をである企業等と連 をである。	受害年) ・実習・実技の ・浸書・実技の ・浸素時数  携した必修の実  した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数  携した必修の演 大クーンシップ ・実で、 、って もお門等 に該専門 には に対 には に対 には に対	受業時数 ・実習・実技 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業的数 のでして、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	無解が	-AN-YURL	109 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位は時間 単位は時間 単位は 単位は 単位は 単位は 単位は 単位				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等とと連携にした況へんのです。	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下についても 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業・ うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	E者評価: 意記載 pademics/graphi 序と連携した実験 序と連携した演習 受業時数 うち企業等と連 其した実験 をと連携した大演習 を連携した実験 をと連携した大演習 がなる企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連 をである企業等と連 をである企業等と連 をである企業等と連 をである。	受害年) ・実習・実技の ・浸書・実技の ・浸素時数  携した必修の実  した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数  携した必修の演 大クーンシップ ・大変を表した必修の演 となるという。	受業時数 ・実習・実技 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業的数 のでして、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	無解が、	-AN-YURL	109 1 109 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位は時間 単位は時間 単位は 単位は 単位は 単位は 単位は 単位				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等とと連携にした況へんのです。	■民間の ※有の場合 https://id	評価機関等から第三、例えば以下についても 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企業 うち企業 うちを強 (うち企業 うちを強 (うち企業 うちを強 (うち企業 くうちを強 (うち企業 くうちを強 (うち企業 くうちを強 くうちを発	E者評価: 意記載 cademics/graphi をと連携した実験 をと連携した演習 受業等と連携した大演習 うちな企業等とと連携したた演習 単位数 うちと連携したた演習 単位数 うちと連携したた演習 単位数 うちと連携したた演習 単位数 うちと連携したた演習 単位数 うちと連携したた演習 単位数 に変いまする。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはままます。 とはまままます。 とはままます。 とはままます。 とはまままます。 とはままます。 とはままます。 とはまままます。 とはまままます。 とはまままます。 とはまままます。 とはまままます。 とはままままます。 とはまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	受害年) ・実習・実技の ・浸書・実技の ・浸素時数  携した必修の実  した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数  携した必修の演 大クーンシップ ・大変を表した必修の演 となるという。	受業時数 会・実習・実技 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 で果た	無 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項	ームページURL 第1号)	109 g 0 g 89 g 0 g 0 g 2 g 2 g	単位時間 単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等とと連携した表習等の実施状況か に記入)	■民間の ※有の場合 https://id (A:単位	評価機関等から第三、例えば以下についても 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業・ うち必修す (うち企) 総単位数 うち企業・ うち必修す (うち企) (うち企業・ うち必修す (うち企業・ くの担当する教育等 年以上となる者 (② 学士の学位を有	E者評価: 意記載 Pademics/graphi 序と連携した実験 子と連携した演習 受業等をと連 うち企業等と連 大変響等と連携した大演習 をと連携した演習 をと連携した演習 をと連携した大変 を変素等とと連 できると連携した大変 を変素等とを連携した大変 を変素をと連連 できると連携した大変 を変素をと連連 できると連携した大変 を変素をと連連 できると連携した大変 を変素をと連連 できると連携した大変 を変素をと連連 できると連携をとすると連携をとすると連携をとするとを変素をときまるとを変素をした。 できるとを変素をしたするとを変素をした。 できるとを変素をしたするとを変素をした。 できるとを変素をしたがあるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなる	受害年) ・実習・実技の ・浸書・実技の ・浸素時数  携した必修の実  した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数  携した必修の演 大クーンシップ ・大変を表した必修の演 となるという。	受業時数 会・実習・実技 習の授業時数) 単位数 会・実習・数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の関係等学	無 が の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ームページURL 第1号) 第2号)	109 a	単位時間単単位時間間単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単				
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等のというでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	■民間の ※有の場合 https://id (A:単位	評価機関等から第三、例えば以下についても 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企業 うち企業 うちを強 (うち企業 うちを強 (うち企業 うちを強 (うち企業 くうちを強 (うち企業 くうちを強 (うち企業 くうちを強 くうちを発	E者評価: 意記載 Pademics/graphi 序と連携した実験 子と連携した演習 受業等をと連 うち企業等と連 大変響等と連携した大演習 をと連携した演習 をと連携した演習 をと連携した大変 を変素等とと連 できると連携した大変 を変素等とを連携した大変 を変素をと連連 できると連携した大変 を変素をと連連 できると連携した大変 を変素をと連連 できると連携した大変 を変素をと連連 できると連携した大変 を変素をと連連 できると連携をとすると連携をとすると連携をとするとを変素をときまるとを変素をした。 できるとを変素をしたするとを変素をした。 できるとを変素をしたするとを変素をした。 できるとを変素をしたがあるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなる	受害年) ・実習・実技の ・浸書・実技の ・浸素時数  携した必修の実  した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数  携した必修の演 大クーンシップ ・大変を表した必修の演 となるという。	受業時数 会・実習・実技 習の授業時数) 単位数 会・実習・数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の関係等学	無 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項	ームページURL 第1号) 第2号)	109 g 0 g 89 g 0 g 0 g 2 g 2 g	単位時間単単位時間間単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況か に記入)	■民間の ※有の場合 https://id (A:単位	評価機関等から第三、例えば以下についても 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業・ うち必修す (うち企) 総単位数 うち企業・ うち必修す (うち企) (うち企業・ うち必修す (うち企業・ くの担当する教育等 年以上となる者 (② 学士の学位を有	E者評価: 意記載 Pademics/graphi 等と連携した実験 等と連携した演習 受業等数 うち企業等と連 うち企業等と連携した大演習 を連携した演習 はした演習 がある企業等と連連 がある企業等と連連 がある企業等と連連 がある企業等とと連携した演習 はいたで表現 ではましたであまる。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	受害年) ・実習・実技の ・浸書・実技の ・浸素時数  携した必修の実  した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数  携した必修の演 大クーンシップ ・大変を表した必修の演 となるという。	受業時数 金・実習・実技 の授業時数) 単位数 ・実習・実技 の授業時数)	無 が の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ディング TRL (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	109 a	単位時間 単位時間 単位時間 単位 中華 単位時間 単位 中華 単位 一人 人人				
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施表のように記入) に記入)	■民間の ※有の場合 https://id (A:単位	評価機関等から第三、例えば以下についても 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業・ うち必修す (うち企) 総単位数 うち企業・ うち必修す (うち企) (うち企・ () 事修学なの専門等 にない。 () 事修学なの事務 にない。 () 事務 にない。 ()	E者評価: 意記載 Pademics/graphi 等と連携した実験 等と連携した演習 受業等数 うち企業等と連 うち企業等と連携した大演習 を連携した演習 はした演習 がある企業等と連連 がある企業等と連連 がある企業等と連連 がある企業等とと連携した演習 はいたで表現 ではましたであまる。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	受害年) ・実習・実技の ・浸書・実技の ・浸素時数  携した必修の実  した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数  携した必修の演 大クーンシップ ・大変を表した必修の演 となるという。	受業時数 余・実習・実技 雷の授業時数) 単位数 ・実習・実技 (専修学 (専修学 (専修学	無 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ディング TRL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	109 g	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 単単位 上 単単位 上 上 上 上 上 上 上 上 上				
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施表のように記入) に記入)	■民間の ※有の場合 https://id (A:単位	評価機関等から第三、例えば以下についても 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業・ うち必修計 (うち企: 数による算定) 総単位数 うち企業・ うち必修計 (うち企業・ うち必修す () また。 ()	E者評価: 意記載 Pademics/graphi 等と連携した実験 等と連携した演習 受業等数 うち企業等と連 うち企業等と連携した大演習 を連携した演習 はした演習 がある企業等と連連 がある企業等と連連 がある企業等と連連 がある企業等とと連携した演習 はいたで表現 ではましたであまる。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	受害年) ・実習・実技の ・浸書・実技の ・浸素時数  携した必修の実  した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数  携した必修の演 大クーンシップ ・大変を表した必修の演 となるという。	受業時数 余・実習・実技 雷の授業時数) 単位数 ・実習・実技 (専修学 (専修学 (専修学	無 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ディング TRL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	109 i	単位時間単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位は時間 単単位位 は位位 位位位 単単単位 人				
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施表のように記入) に記入)	■民間の ※有の場合 https://id (A:単位	評価機関等から第三、例えば以下についても 評価ではいていても 評価ではいていても 評価ではいていても 評価ではいていている。 評価ではいている。 「のはいなる算定) 総理ではいるでは、 「のも企業・ 「のものも、 「のものものも、 「のものも、 「のものものも、 「のものも、 「のものものも、 「のものものものものものものものものものものものものものものものものものものも	E者評価: 意記載 Pademics/graphi 等と連携した実験 等と連携した演習 受業等数 うち企業等と連 うち企業等と連携した大演習 を連携した演習 はした演習 がある企業等と連連 がある企業等と連連 がある企業等と連連 がある企業等とと連携した演習 はいたで表現 ではましたであまる。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	受害年) ・実習・実技の ・浸書・実技の ・浸素時数  携した必修の実  した必修の演 ンターンシップ ・実習・実技の の単位数  携した必修の演 大クーンシップ ・大変を表した必修の演 となるという。	受業時数 余・実習・実技 雷の授業時数) 単位数 ・実習・実技 (専修学 (専修学 (専修学	無 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ディング TRL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	109 a 100 a	単位時間単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位は時間 単単位位 は位位 位位位 単単単位 人				
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施表のように記入) に記入)	■民間の ※有の場合 https://id (A:単位	評価機関等から第三、例えば以下についても 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企) 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企) (うち企業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E者評価: 意記載 Pademics/graphi 序と連携した演習 受業等と連携したた演習 うちな企業等と連携したた演習 を連携したた演習 を連携したた演習 がある企業等とと連携したた演習 がある企業等とと連携したた演習 がある企業等とと連携したた演習 がある企業等とと連携したであずる。 をはましたであずる。 は、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいでは、でもいたであずる。 は、できるいできるいでは、できるいできるいでは、できる。できるいでは、で	受害年) ・実習・実技の ・ 実習・実技の ・ 大変になる。 ・ 大変にないる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	受業時数  ・実習・実技 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の世位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単体 で、専修学 で、「専修学	無 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第5号)	109 a 100 a	単位時間単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位は時間 単単位位 は位位 位位位 単単単位 人				
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等等のした況からに記入) に記入)	■民間の ※有の場合 https://id (A:単位	評価機関等から第三、例えば以下についても 評価団体: ea.kawahara.ac.jp/ac 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企) 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企) (うち企業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E者評価: 意記載 Pademics/graphi 等と連携した実験 等をと連携した演習 うち企業等とと連携したで演習 うち企業等とと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで表 をと連携したを演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで演習 をと連携したで表 をと連携したを表 をときをときをときをときをときまた。 できるとを表 をときまたであまた。 を表 を表 を表 を表 を表 を表 を表 を表 を表 を表	受害年) ・実習・実技の ・ 実習・実技の ・ 大変になる。 ・ 大変にないる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	受業時数  ・実習・実技 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の世位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単体 で、専修学 で、「専修学	無 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第5号)	109 a 100 a	単位時間 単単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単				

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育のモデルは、業界の実務動向、社会の変化がその基盤になければならない。したがって教育課程の編成においては、業界及び社会の変化やニーズ、在校生及び卒業生の仕上がり状況等の不断の組織的、継続的検証を行う必要がある。企業等から広く、具体的に意見を求め、高度で実践的な教育課程を編成するために、新たな授業科目の開設における連携はもちろんのこと、現存のシラバスやコマシラバスにまで落とし込める授業内容・方法の改善並びに教材開発につながる連携を行うことを基本方針とする。

#### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、教務系会議の中核的委員会として位置づけ、前期末、後期末の総括会議(科目検討、シラバス検討、コマシラバス検討、授業法検討など)において、計画上の可否、実行上の可否判断に関連外部実務家の意見をたえずフィードバックさせる会議体として機能させることとする。議事録などには、新科目開設の必要の有無、シラバス・コマシラバス改善の必要の有無、教授法改善の必要の有無などを科目単位で具体的にアジェンダ集約し、改善の中身が具体的にわかるよう会議を集約することを会議規程とし

### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
清水 裕孝	エヒメデザイン協会	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	2
伊藤 智祥	松山市役所 総合政策部 企画戦略	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	1
小越 将史	グラフィックデザイナー	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	3
白石 隆保	河原デザイン・アート専門学校 校長	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	_
露口 武志	川原ナザイン・アート専門学校 副校長	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	_
徳永 将規		令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	_
山戸 裕子	グラフィックデザイン科 学科長	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	_
重岡 真美	グラフィックデザイン科 学科長	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

## (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (11月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年11月19日 17:00~18:30 第2回 令和7年3月18日 17:00~18:15

### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

業界で活躍している卒業生に、仕事に携わることで人生がどう変わったかを伝えてもらう機会を設け、学生に目標意識を向上させる。 モチベーションを維持するために、時に実物(建築物)を見学する授業を取り入れ、その後、感じたこと学んだことをレポートにしっかり 書かせていく。2年間のカリキュラムが沢山詰め込まれすぎており学生が多いと感じるため、どういった授業を行うのかコマシラバスを活 用し意義や目的を伝える。専門学校は2年間しかない為その2年間でどれだけ楽しいと思わせるか、資格がどう将来に繋がっていくかを 教える必要がある。「やらさせている」感が強いうちは途中でたるんでしまうためどうやる気にさせるか、学生の温度差をどう解消するか が問題であるため自分のその先の就職イメージをきちんと持たせる必要がある。

# 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

### (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携した実習等は、1)学生が校内における通常の実習等では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術等を習得する場であり、2)さらには学習してきた知識や技術の理解度、習熟度を再確認し、3)企業等の関係者から具体的で実践的な評価を得て、学生の実務能力を多面的に開発する機会とする。また学生能力の習得のみならず、その機会を通じて、学校の実習カリキュラムがより実践的な内容になるよう努めることとする。

### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

フリーペーパーの企画・制作・発行に至るプロセスを企業と連携することにより実践的に学ぶ。具体的には、NPOましまろプロジェクトとして「絵本のフリーペーパーましまろの発刊」、自らがメディアを持つことにより、出版物の制作の流れ(編集・取材・営業・デザイン・配付など)を 自らが体験し、それぞれの役割を理解する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
デザイン演習	講師が一部の授業のみ	クリエーターズクラブ愛媛に所属するプロのクリエイターとともに、平面でのレイアウトのみならず、ブランディングなど多岐に渡る知識と技術の習得を行う。	クリエーターズクラブ愛媛
コピーライティング概 論	講師が一部の母業のみ	取材内容をスムーズに伝えることができるライティングの技術を習得する。受け手に想いが伝わる言葉 の選び方、考え方を体系化し、テクニックとして身に つけ、感性を磨いていくことを目的とする。	プランニングオフィス アーク
商業デザイン演習		広告制作に関する基礎的理論の理解と 基本的な制作技術の習得を目的とする。	デザインオフィスIRODORI

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校の教員研修の基本方針は、1)各教員の専攻分野における実務に関する高度な専門知識・技術の修得、2)およびそれらを授業計画(カリキュラム、シラバス、コマシラバス)に落とし込む能力の修得、3)さらにはその研鑽を実際の授業運営に反映させる教育力の修得を目的として、教職員研修規程第2条に定める研修を受講させることとする。同規程第3条に定めるとおり、所属長及び法人本部総務部責任者は、各教員の実務専門性や教育力の組織的で継続的な向上に努めることとする。

#### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本校の教員研修の基本方針は、1)各教員の専攻分野における実務に関する高度な専門知識・技術の修得、2)およびそれらを授業計画(カリキュラム、シラバス、コマシラバス)に落とし込む能力の修得、3)さらにはその研鑽を実際の授業運営に反映させる教育力の修得を目的として、教職員研修規程第2条に定める研修を受講させることとする。同規程第3条に定めるとおり、所属長及び法人本部総務部責任者は、各教員の実務専門性や教育力の組織的で継続的な向上に努めることとする。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: JAGDA in OKAYAMA 2024 連携企業等: JAGDA 期間: 令和6年6月22日 対象: 学科長

内容 日本最大のデザイナー団体による未来のクリエイティブについての研修。

研修名: 生成AIについての研修 連携企業等: a.b.e.inc

期間: 令和6年9月11日 対象: 学科長

内容 生成AIについての研修

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: DXスキル研修 連携企業等: 学校法人河原学園

期間: 随時開始 対象: 全教職員

内容 個人のDXスキルのレベルに合わせてメニューを選択して受講し、DXスキルの向上を図る。

研修名: 休退学防止研修 連携企業等: 学校法人河原学園

期間: 令和6年8月開始 対象: 常勤教員

内容 休退学を防止するための具体的なクラス運営手法を学ぶ。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 生成AIについての研修 連携企業等: a.b.e.inc

期間: 45911 対象: 学科長

内容 生成AIについての研修

研修名: 広がりすぎたデザインを接続する 連携企業等: 一般社団法人デザインシップ

期間: 45942 対象: 学科長

内容 デザインマネジメント・デザインシステムの研修

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: DXスキル研修 連携企業等: 学校法人河原学園

期間: 随時開始 対象: 全教職員

内容 個人のDXスキルのレベルに合わせてメニューを選択して受講し、DXスキルの向上を図る。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検評価の客観性・信頼性や社会的ミッションの取り込みを加速させる取り組みでなければならない。そのことによって、組織的、継続的な学校改善に実質的に寄与する自己点検評価の質的向上を図ることとする。またステークホルダーとしての関係者評価にとどまらず、将来的には、関係者を越えた第三者評価に発展しうる質の高い関係者評価を目指すこととする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)、子修子以に8317の子以計画のイドプイン」の項目との列心									
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目								
(1)教育理念•目標	教育理念·目的								
(2)学校運営	組織・管理運営								
	教育								
(4)学修成果	基本指標								
(5)学生支援	就職指導、学生支援								
	設置基準項目(施設設備等に関する事項)								
(7)学生の受入れ募集	学生の受け入れ								
(8)財務	財務								
(9)法令等の遵守	設置基準項目、組織・管理運営(法令遵守)								
(10)社会貢献・地域貢献	学校教育以外の諸活動								
(11)国際交流									

<sup>※(10)</sup>及び(11)については任意記載。

・学校関係者評価委員会のご意見については議事録を作成・保存しており、ご意見を頂いた内容を基に次年度以降の学校 運営の計画を策定している。

# (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

	名 前	所属	任期	種別
谷口昌	子		令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	在校生保 護者
水沼 希	実		令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	卒業生
関家 浩	太郎	南海放送サービス株式会社	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業
正岡秀	明	株式会社マナフ	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業
河内 直	弘		令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業
山下 健	司	総合資格学院松山校	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業
宮内 慎	- -		令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	職能団体
篠原 悟		朝日ヶ丘高等学園 鹿島朝日高等学校	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	高等学校 関係者

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

《ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://idea.kawahara.ac.jp/disclosure/

公表時期: 令和7年10月1日

<sup>(3)</sup>学校関係者評価結果の活用状況

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

(1) 正来守め子校園旅行に対する情報促民の基本力面 高度な職業教育への研鑽を組織的、継続的に推進するためには、組織的、継続的な企業連携が必須とわれわれは考えている。その連携を有意義 なものとするためには、企業にとって、学校の教育人材目標やその現状が体制として見えやすいものになっていなければならない。教育課程編成会 議、学校関係者評価会議などの会議規程の透明性や開放性はもとより、自己点検評価の各指標全体が検証可能な透明性や開放性を持つことが、 そのためにも必須である。その方針の下、われわれは以下の連携指標をもつこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念・目的、沿革、組織・管理運営、設置基準項目(施設設備等に
(2)各学科等の教育	基本指標、教育、設置基準項目(学生に関する事項)設置基準項目(教
(3)教職員	設置基準項目(教員等に関する事項)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	教育活動以外の諸活動
(6)学生の生活支援	学生の受け入れ
(7)学生納付金・修学支援	設置基準項目(財務に関する事項)、学生の受け入れ
(8)学校の財務	財務
(9)学校評価	自己点検·評価報告書、学校関係者評価結果公開資料
(10)国際連携の状況	学校教育以外の諸活動
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

https://idea.kawahara.ac.jp/disclosure/ 令和7年10月1日 URL:

公表時期:

# 授業科目等の概要

				専門課程 グラ	フィックデザイン科)									Lat	_	
		分類	Į			_	1		授	業プ	<u> </u>	場	所	教	員	
	必	選択必	選	授業科目名	授業科目概要	当年次・	授業時	単位	講	演	実験・実習	校	校	専	兼	企業等との
	修	修	択			学期	数	数	義	習	· 実 技	内	外	任	任	連携
1	0			色彩理論	色彩についての基礎から応用まで幅広い知 識と技能を身につける。 全国美術デザイン 専門学校教育振興会主催色彩士検定 3級取 得を目指す。	1 前	30	2	0	Δ		0		0		
2	0			Photoshop 表 現技法	Adobe Photoshopの基本操作の習得。サーティファイ主催 Photoshop能力認定試験スタンダード級取得を目指す。	1 前	60	2	Δ	0		0		0		
3	0			Illustrator 表現技法	Adobe Illustratorの基本操作の習得。サー ティファイ主催 Illustrator能力認定試験 スタンダード級取得を目指す。	1 前	60	2	Δ	0	0	0		0		
4	0			ビジネス著作 権論	作品制作において必要不可欠な著作権の知 識を習得する。サーティファイ主催 ビジネ ス著作権検定 ベーシックの取得を目指す。		30	2	0			0		0		
5	0			デッサン I	画力の向上と、紙面レイアウト能力の向上 を目的としている。静物デッサンから、人 体デッサンまで行う。	1 前	60	4	Δ	0		0		0		
6	0			デッサンⅡ	画力の向上と、紙面レイアウト能力の向上 を目的としている。静物デッサンから、人 体デッサンまで行う。	1 後	60	4	Δ	0		0			0	
7	0				カメラを扱う上での基本的な知識と撮影に おける基礎技術を学び、思い描いたイメー ジを具体的に表現できる撮影技術の習得を 目指します。		60	2	Δ	0		0			0	
8	0				カメラを扱う上での基本的な知識と撮影に おける基礎技術を学び、思い描いたイメー ジを具体的に表現できる撮影技術の習得を 目指します。		60	2	Δ	0		0			0	
9	0			ザイン技法	基礎製図、平面構成、レタリング、表現基 礎、立体構成など。デザインの基本的な知 識と技術を習得する。	前	30	1	Δ	0		0		0		
10	0			コ ピ ー ラ イ ティング概論	雑誌、広告、新聞等でコピーが果たす役割 を理解する。コピー制作のコンセプトワー クとグループディスカッションの実施。	1 後	30	2	0	Δ		0			0	0
11	0			デザイン史	アール・デコ等の中世のデザインから、近 代美術史まで、デザインの歴史を学ぶ。	1 前	30	2	0	Δ		0			0	0
12	0			画材表現技法	手を使った描画表現力を鍛えるため、様々な画材を使用し、スケッチ・ドローイング・デッサン・模写など、一番身近な手という道具を使いこなす技を身につける。	1	30	1	Δ	0		0		0		

13	0			ポスターカラー、リキテックス、透明水彩、水彩色鉛筆など画材の種類と特性を理解する。画材を活かした技法を学び、作品制作の表現の幅を広げる。	1	60	2	Δ	0	0		0	
14	0		商品企画演習	商品の企画「プランニング」を学び、企画 力の育成を目指す。グループワークにて、 それぞれ商品を企画し、プレゼンまで行 う。	1	60	4	Δ	0	0		0	
15	0			色やレイアウトのルール、フォントの選び方や上手な間の取り方などのデザインの基本や印刷方式や加工などの印刷技術、デザインソフトに関することを学んでいく。	1	30	2	0	4	0	0		
16	0		商業デザイン 演習	地図の制作の仕方や、チラシのデザインなど、ポートフォリオ制作ができる程度のレイアウトについて学ぶ。		60	4	Δ	0	0		0	0
17	0		Webデザイン I	Web業界では、クリエイティブな人材(企画・構成・デザイン・コーディング・顧客のケアができる)を求められていることから、webのワークフローとデザインを実践的に体験する。	1	60	4	0	Δ	0		0	0
18	0		デザイン演習 I	クリエイターズクラブ愛媛と連携を行い、プロのデザイナーが全3回の講義を行う。基礎的なレイアウトの知識をはじめ、企業のブランディング、イラストレーション等、様々な分野に取り組み知識、技術の両面のレベルアップを図る。	1.41.	60	4	Δ	0	0		0	
19	0		デザイン概論	デザインの現場において必要なUI /UXの知識と技術の習得を行う。	1 前	60	4	0	Δ	0		0	
20	0		ITリテラシー I	実社会でのITツールの基本的な使用に習熟することを目的としてMicrosoft365を使用させる。		30	1	0		0	0		
21		0	レイアウト理 論 I	レイアウトの様式と造形の基本を理解し、 レイアウト効果を決定づける要素をケース スタディーから学ぶ。	1 後	30	2	Δ	0	0	0		
22		0		広告制作の上で必要とされるイラストレーションを中心に各媒体ごとに対象や目的・表現方法などの制約から指定し、条件をクリアするキャラクターを作成する。	1	30	2	Δ	0	0		0	
23	0		DTP演習 I	広告制作に関する基礎的理論の理解と基本 的な制作技術の習得をする。	: 2 前	60	4	Δ	0	0	0		
24	0		DTP演習 II	来年度の学校案内の制作から実践的なデザインの制作手順を疑似体験する	2 後	60	4	Δ	0	0	0		0
25	0		ブランディン グ研究	デザインが自己完結にならず、消費者に とってどういう意味をもっているかを理解 することを目的とする。		60	4	0	Δ	0	0		0
26	0		InDesign表現 技法	InDesignの基本的な操作から名称・応用的なテクニックまでテキストを中心に使い習得する。またそれぞれの項目の復習として指示された通り制作しオペレーション技術の向上を図る。	2	30	1	Δ	0	0		0	0
27	0			画材の知識と画材ごとの表現技法を学び、 作品制作の表現の幅を広げる。	2 前	60	2	Δ	0	0		0	

28	0		イラストレー ション技法Ⅲ	画材の知識と画材ごとの表現技法を学び、 作品制作の表現の幅を広げる。1月にギャラ 2 60 2 △ ○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	0	
29	0		印刷概論	印刷の歴史、仕組み、印刷物のできる流れ を学ぶ。デジタルデータでの入稿の注意事 項や印刷現場の現状を知る。	0	0
30	0		メディア企画 演習 I	街広告の制作から企画提案能力を向上させる。提案したデザインをパワーポイントで2発表し、プレゼンテーション能力の向上を前目指す。		
31	0		メディア企画 演習 II	NPOましまろプロジェクトとしてのフリーペーパーを発行(年4回)運営から企画・制作・編集・広報業務を体験し、媒体を自らが持つことにより出版業務全般の流れを理解する。	)	
32	0		デザイン演習 Ⅱ	デザイン演習 II ではブランディングや動画 2	0	
33	0		公募展作品制作Ⅰ	二科展、県展のグラフィック部門へ作品 (B2.B1)を出品する。テーマの設定からア 2 イディア出し、水張り・ビニール張りの方 前 法など一の流れを学ぶ。	)	
34	0		公募展作品制 作 Ⅱ	二科展、県展のグラフィック部門へ作品 (B2.B1)を出品する。テーマの設定からア 2 イディア出し、水張り・ビニール張りの方 後 30 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	)	
35	0		ITリテラシー Ⅱ	実社会でのITツールの基本的な使用に習熟 2		
36	0		西洋美術史I	古代ギリシャ・ローマから中世・ルネサンスまでの西洋美術の流れを学び、造形の基前 30 1 O 使理解と歴史的背景を身につける。	0	
37	0		西洋美術史Ⅱ	バロックから近現代美術までの潮流を学び、表現の変遷と社会的背景を理解し現代 後 30 1 O デザインへの応用力を養う。	0	
38		0	レイアウト理 論 II	レイアウトの様式と造形の基本を理解し、 2	)	
39		0	レイアウト理 論Ⅲ	レイアウトの様式と造形の基本を理解し、 レイアウト効果を決定づける要素をケース スタディーから学ぶ。		
40		0	WEBデザイン Ⅱ	Webデザインの業界は、新しいものを生み出せる、斬新な発想のできる人材が求められている。Webデザインの授業では、Web制作のワークフローを学び、オペレーターの育成ではなく企画・デザイン提案できる人材の育成を目指す。	0	
41		0	キャラクター デザインⅡ	広告制作の上で必要とされるイラストレー ションを中心に各媒体ごとに対象や目的・2 表現方法などの制約から指定し、条件をク 前 リアするキャラクターを作成する。	0	
42		0	キャラクター デザインⅢ	広告制作の上で必要とされるイラストレー ションを中心に各媒体ごとに対象や目的・2 表現方法などの制約から指定し、条件をク後 リアするキャラクターを作成する。	0	

43		0		プロダクトデ	様々な文房具や雑貨の商品デザインをする 中で、素材による印刷方法の違いや版下の 作成の仕方など、デザインを行う上での基 本を学ぶ。	2	60	4	Δ	0		0	Δ	0	
	合計			計	43 科目   109 単位(単位印				単位時間)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等
卒業要件: 出席率90%以上、卒業基準検定の取得、期末試験合格	1 学年の学期区分 2 期
履修方法: 対面授業(一部遠隔授業)	1学期の授業期間 15週